

2012年度 第2四半期(中間)決算の概要

2012年10月30日(火)

コマツ

取締役(兼)常務執行役員 CFO

藤塚 主夫

2012年度 上期(4~9月)の概況

1. 売上・損益

対前年同期比減収減益。利益は7月公表の修正見通しを上回る。

	2011年4~9月 (FY2011 上期)	2012年4~9月 (FY2012 上期) []:7月公表 修正見通し	対前年同期比
連結売上高	9,858 億円	[9,400] 9,308 億円	▲5.6 %
営業利益	1,329 億円	[1,110] 1,112 億円	▲16.3 %
売上高営業利益率	13.5 %	12.0 %	▲1.5 ポイント
純利益 *1	*2 946 億円	[640] 661 億円	▲30.2 %
ネットD/Eレシオ (リテールファイナンス会社を除いた場合)	0.52 (0.24)	0.53 (0.27)	0.01ポイント悪化 (0.03ポイント悪化)

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810による「当社株主に帰属する四半期純利益」 *2 コマツレンタル吸収合併に伴う税効果127億円を含む

2. 各セグメントの状況

■ 建設機械・車両:

- 中国建機需要の低迷、燃料炭価格下落に伴うインドネシア石炭鉱山向け需要の急減を、日本・北米の建設機械、石炭鉱山向け以外の鉱山機械等で補い、売上高は対前年同期比若干減。
- 販売量の減少、為替がユーロに対し円高で推移したこと等により、セグメント利益は対前年同期比マイナス。

■ 産業機械他:

- プレス機械、工作機械の需要は堅調に推移したが、ワイヤーソー需要の低迷、仮設住宅用プレハブハウスの需要一巡等により対前年同期比減収減益。

3. 中間配当金: 24円 (前中間期:21円)

(注) 本資料では第2四半期累計(4~9月)を「上期」と表示します。

2012年度 第2四半期(7~9月)の連結売上高と損益

・中国・インドネシアの需要減、ワイヤーソーの需要低迷等を、日本・北米の建設機械および石炭鉱山向け以外の鉱山機械等でカバーしたものの、売上高は対前年同期比▲6.3%の減収。

・営業利益および純利益は7月修正見通しを上回る。

%:利益率

():外部顧客向け売上高

[]:7月公表 修正見通し

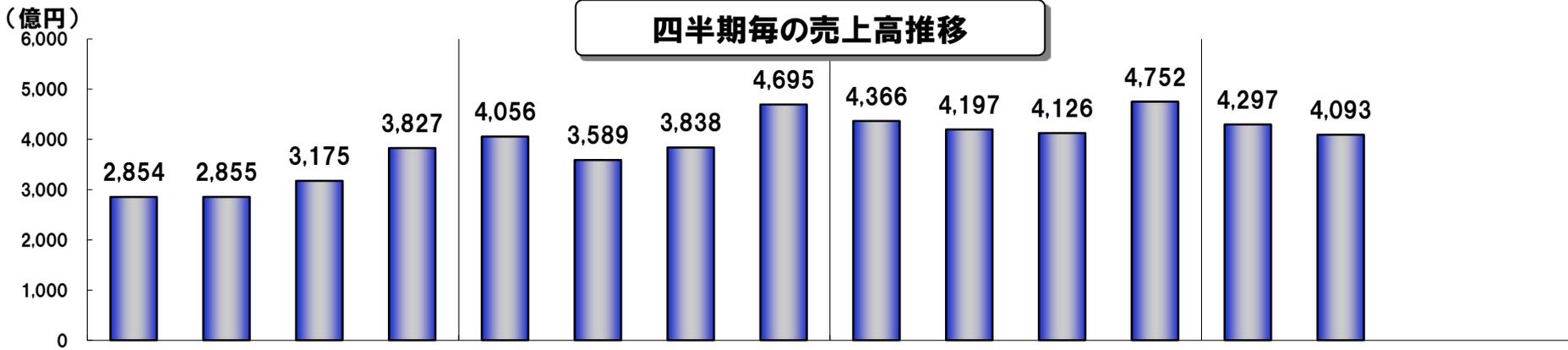
金額単位:億円

	2011年7~9月 (FY11/2Q) 1ドル=77.1円 1ユーロ=108.7円 1元=12.1円		2012年7~9月 (FY12/2Q) 1ドル=78.7円 1ユーロ=98.3円 1元=12.4円		対前年同期比		
					増減	伸率	
売上高	4,916	[4,700]	4,609		▲307	▲6.3%	
- 建設機械・車両	(4,183)	4,197	(4,087)	4,093	(▲96) ▲104	(▲2.3%) ▲2.5%	
- 産業機械他	(733)	758	(521)	541	(▲211) ▲217	(▲28.9%) ▲28.6%	
- 消去	▲39		▲25		+13	-	
セグメント利益	13.1%	646	12.2%	560	▲86	▲13.3%	
- 建設機械・車両	14.1%	592	13.5%	553	▲38	▲6.6%	
- 産業機械他	8.3%	62	1.7%	9	▲53	▲85.3%	
- 消去または全社		▲9		▲2	+6	-	
その他の営業収益(▲費用)		0		▲4	▲4	-	
営業利益	13.1%	645	[552]	12.1%	555	▲90	▲14.0%
その他の収益(▲費用)		▲27		▲14	+13	-	
税引前純利益		618	[537]		541	▲76	▲12.4%
純利益 *		389	[318]		339	▲49	▲12.8%

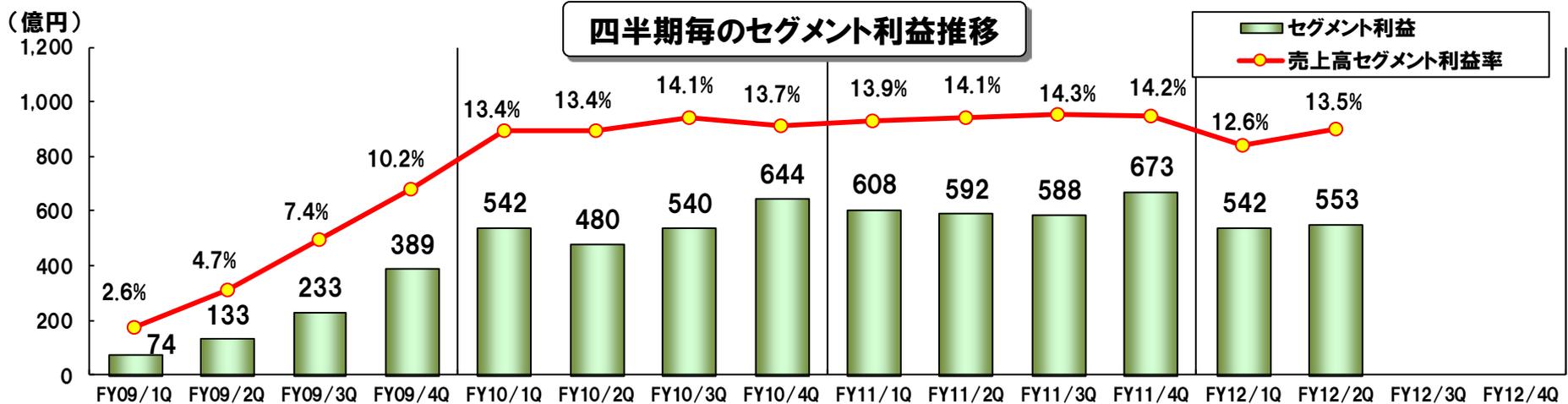
* 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810による「当社株主に帰属する四半期純利益」

<建設機械・車両> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

- ・為替の円高が継続する中、建設機械・車両部門の売上高・セグメント利益は、2010年度を上回る水準で推移。
- ・販売価格改善、コスト低減等の努力により、セグメント利益率は13.5%と前四半期より改善。



為替レート	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	円	円



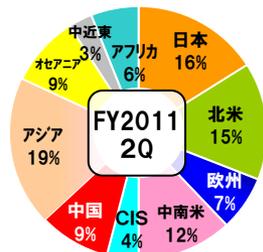
＜建設機械・車両＞ 2012年度 第2四半期（7～9月）の売上高内訳

- ・日本・北米は引き続き堅調を維持。
- ・鉱山機械需要の堅調な中南米・オセアニアは四半期売上高の最高額を更新。
- ・需要低迷が続く中国、インドネシアの石炭鉱山向け需要が急減したアジアで対前年同期比減収。
- ・インドネシア以外の鉱山機械需要は堅調に推移し、鉱山機械の売上高は対前年同期比+19.7%増の1,633億円。

(金額単位:億円)		2011年7～9月 (FY11/2Q)	2012年7～9月 (FY12/2Q)	対前年同期比	
				増減	増減率
伝統市場	日本	676	698	+22	+3.4%
	北米	617	639	+21	+3.5%
	欧州	292	230	▲61	▲21.0%
戦略市場	中南米	494	693	+198	+40.2%
	CIS	166	192	+26	+15.7%
	中国	388	217	▲170	▲43.9%
	アジア	810	524	▲286	▲35.4%
	オセアニア	379	548	+169	+44.5%
	中近東	100	90	▲9	▲9.8%
	アフリカ	256	251	▲5	▲2.2%
合計		4,183	4,087	▲96	▲2.3%
うち、鉱山機械		1,364	1,633	+269	+19.7%

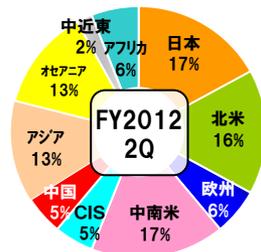
地域別売上構成比

戦略市場
62%



伝統市場
38%

戦略市場
62%



伝統市場
38%

2012年度 上期(4~9月)の連結売上高と損益

・中国・インドネシアの需要減、ワイヤーソーの需要低迷等を、日本・北米の建設機械および石炭鉱山向け以外の鉱山機械等でカバーしたものの、対前年同期比▲5.6%の減収。

・営業利益ならびに純利益は7月修正見通しを上回る。

◻:利益率 () :外部顧客向け売上高 [] :7月公表 修正見通し

金額単位:億円

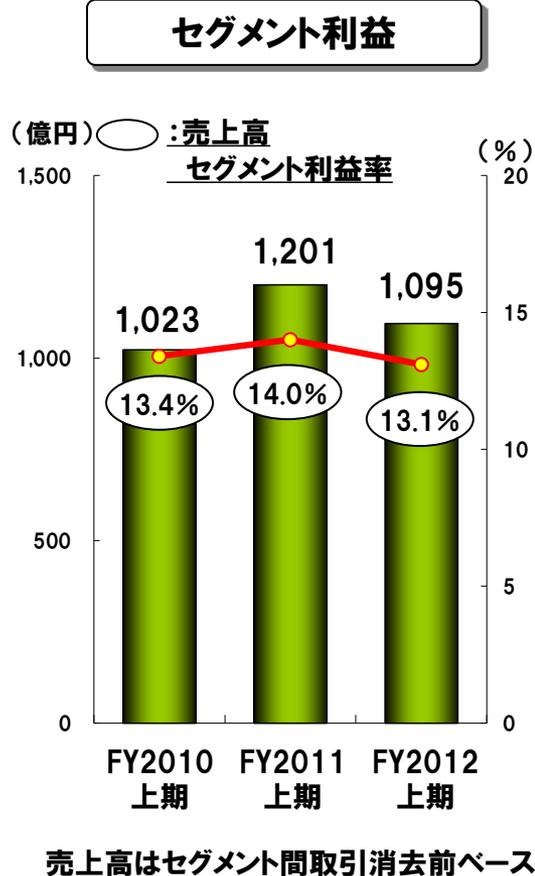
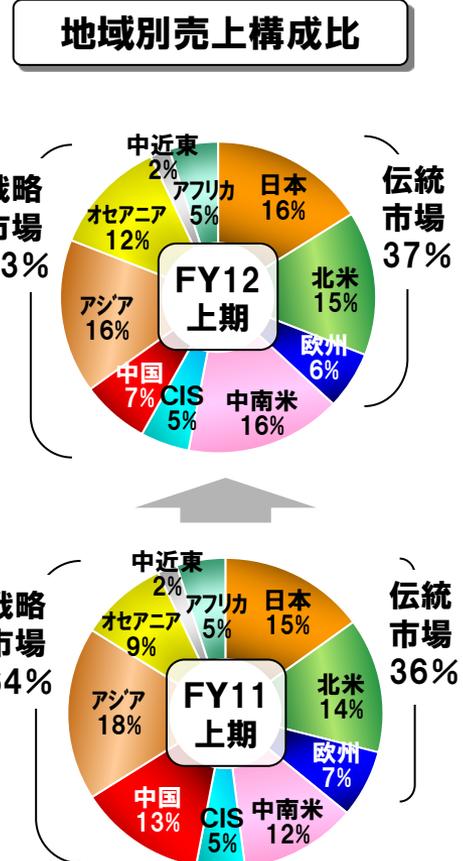
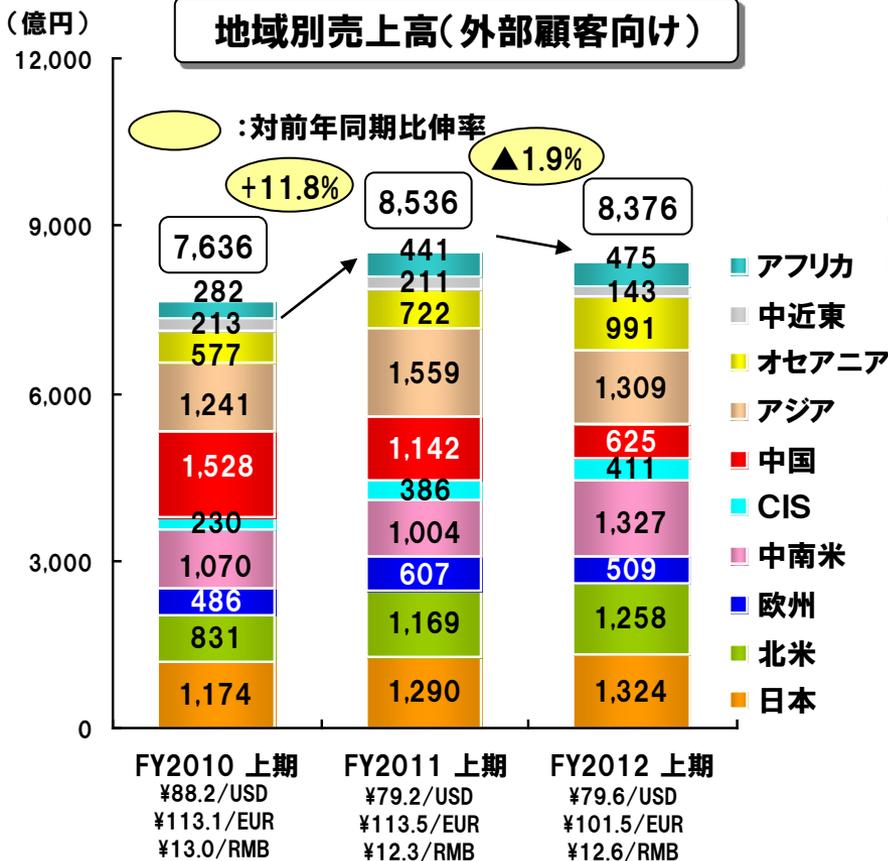
	2011年4~9月 (FY11/上)		2012年4~9月 (FY12/上)		増 減	
	1ドル=79.2円 1ユーロ=113.5円 1元=12.3円		1ドル=79.6円 1ユーロ=101.5円 1元=12.6円			
売上高	9,858	[9,400]	9,308	▲550	▲5.6%	
- 建設機械・車両	(8,536)	8,564	(8,376)	▲160	▲1.9%	
- 産業機械他	(1,321)	1,363	(931)	▲390	▲29.5%	
- 消去	▲69		▲55	+14	-	
セグメント利益	◻13.5%	1,327	◻12.0%	▲214	▲16.2%	
- 建設機械・車両	◻14.0%	1,201	◻13.1%	▲105	▲8.8%	
- 産業機械他	◻11.1%	151	◻3.4%	▲118	▲78.2%	
- 消去または全社		▲25	▲16	+9	-	
その他の営業収益(▲費用)		2	0	▲2	-	
営業利益	◻13.5%	1,329	[1,110] ◻12.0%	▲216	▲16.3%	
その他の収益(▲費用)		▲27	▲58	▲31	-	
税引前純利益		1,302	[1,050]	▲248	▲19.1%	
純利益*1		*2 946	[640]	▲285	▲30.2%	
1株当たり配当金(円)		21円	24円	+3円		

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810による「当社株主に帰属する四半期純利益」

*2 コマツレンタル吸収合併に伴う税効果127億円を含む

<建設機械・車両> 2012年度上期 地域別売上高とセグメント利益

・中国・アジアの構成比が減少する一方、日本・北米および鉱山機械が好調な中南米・オセアニアの比率が拡大。



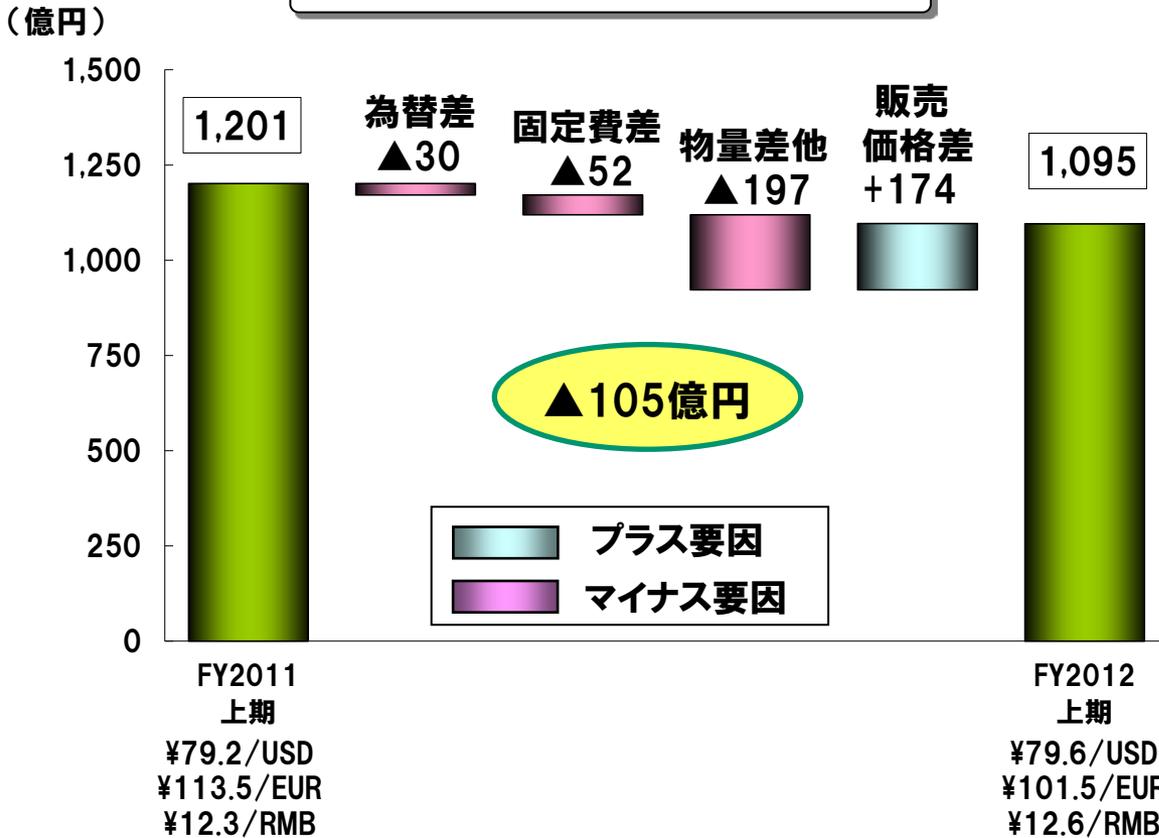
売上高伸率 (対前年同期比)

%	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY11/上	+9.9%	+40.7%	+24.9%	▲6.2%	+67.3%	▲25.2%	+25.7%	+25.1%	▲1.1%	+56.5%	+11.8%
FY12/上	+2.6%	+7.6%	▲16.1%	+32.1%	+6.7%	▲45.3%	▲16.1%	+37.4%	▲32.2%	+7.5%	▲1.9%

＜建設機械・車両＞ 2012年度上期 セグメント利益の増減要因

・為替、固定費、物量等のマイナスを販売価格の改善でカバーし、売上高セグメント利益率は13.1%を維持。

FY2011 上期 vs. FY2012 上期



【プラス要因】

・販売価格差: +174億円

【マイナス要因】

・為替差: ▲30億円
 ・固定費差: ▲52億円
 ・物量差他: ▲197億円

合計 ▲105億円

14.0%

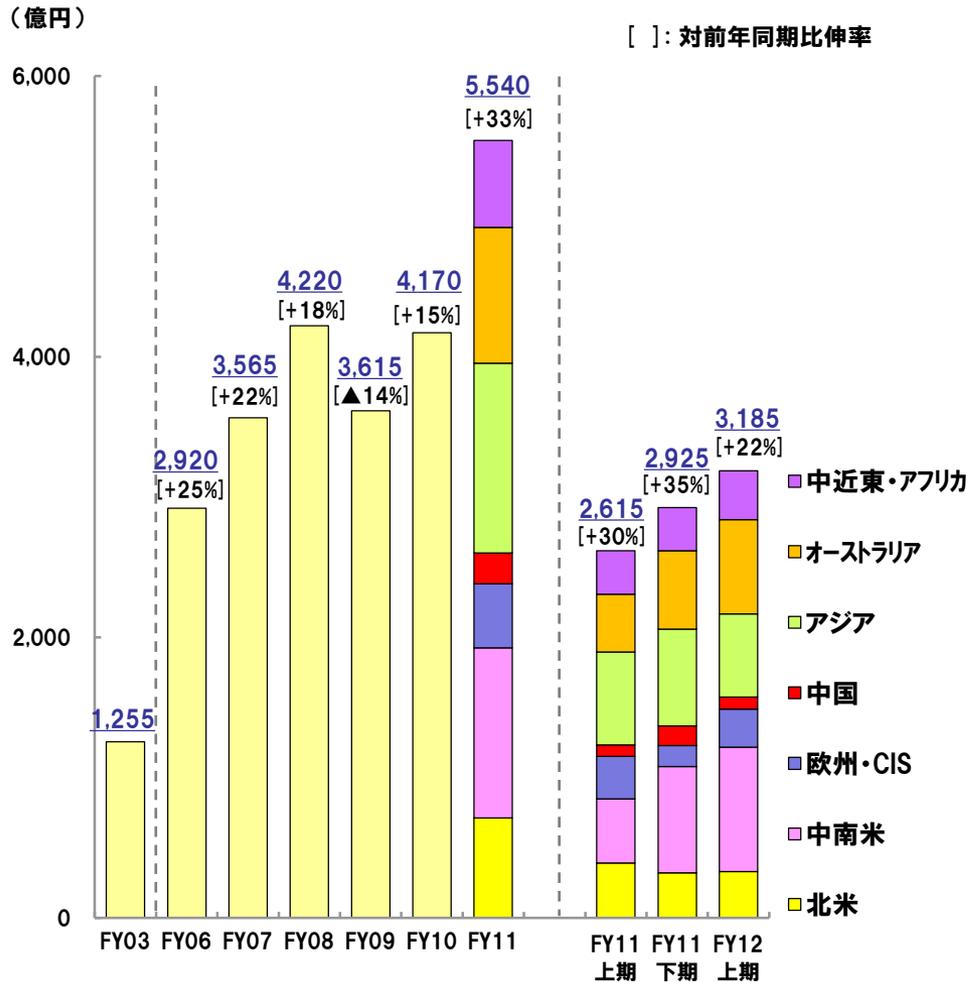
売上高セグメント利益率

13.1%

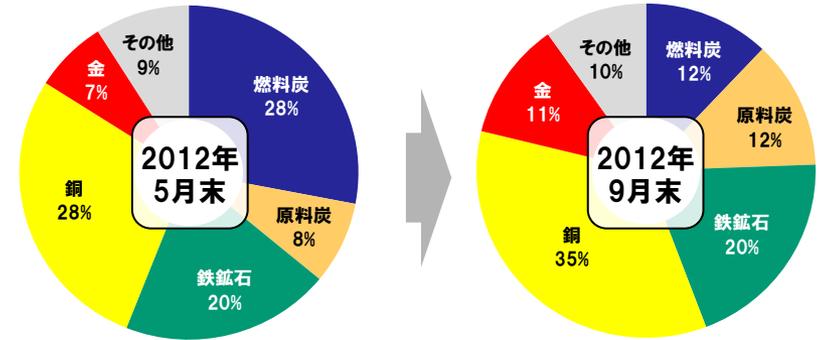
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高

・上期の鉱山機械売上高は、中南米・オーストラリア向けが堅調に推移し、対前年同期比+22%増。

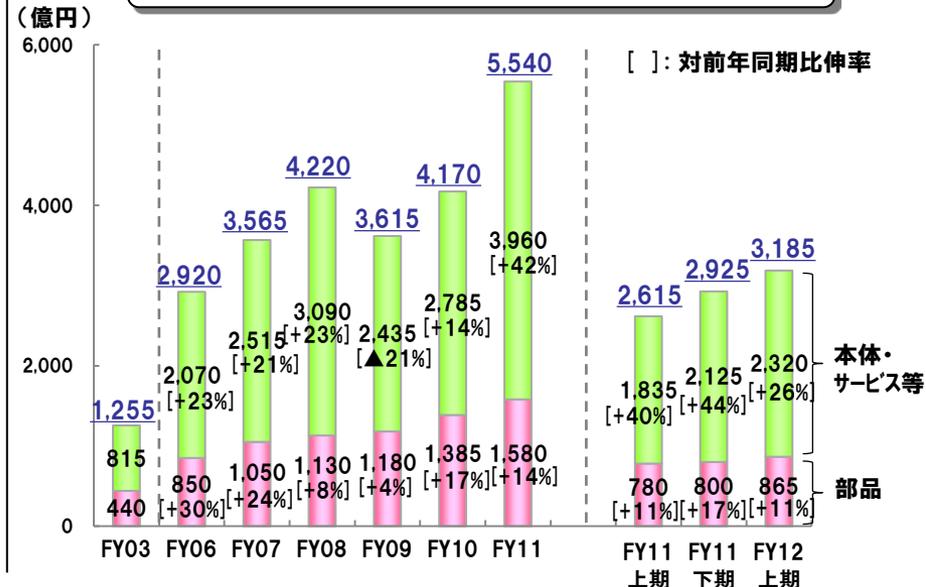
鉱山機械 地域別売上高
(部品・サービス含む)



鉱物資源別 受注残構成比 (2012年度出荷予定分のみ)
本体のみ (部品・サービスを除く)、内定・予約分を含む

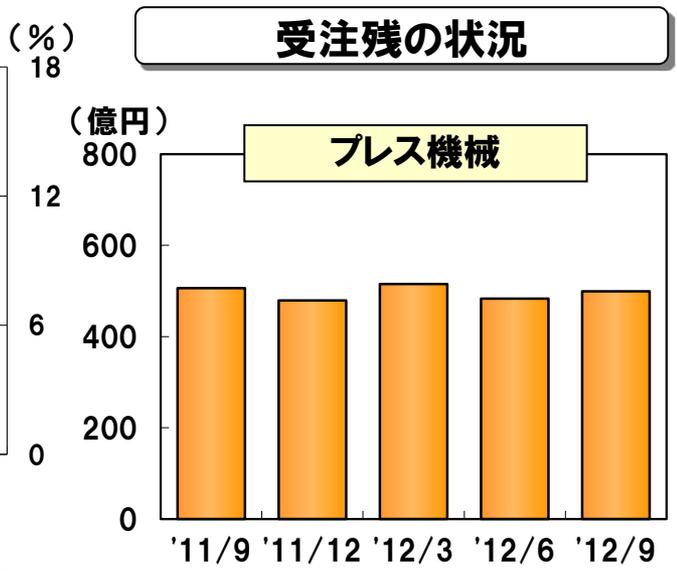
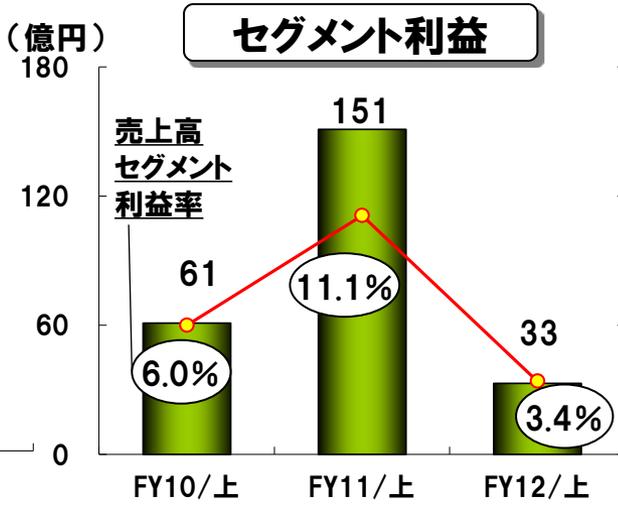
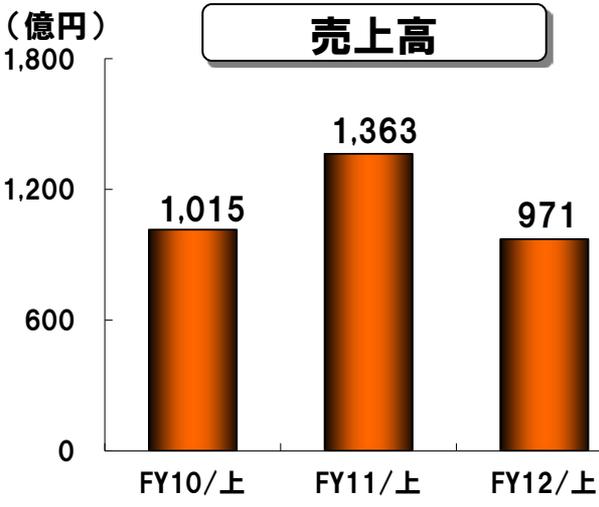


鉱山機械 売上高(本体・サービス等/部品)



<産業機械他> 売上高とセグメント利益

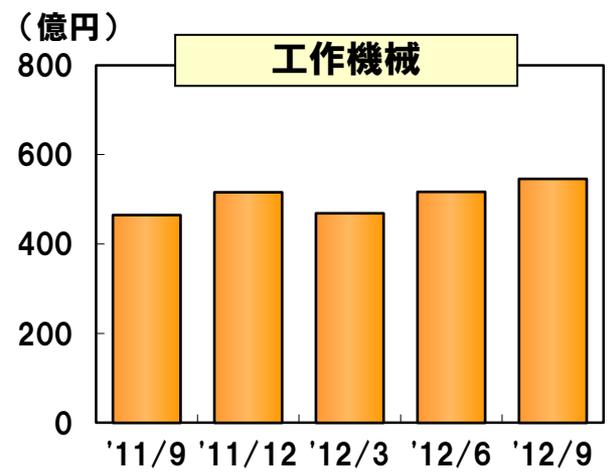
・プレス機械・工作機械の需要は堅調であったが、ワイヤーソーの需要低迷、仮設住宅用プレハブハウスの需要一巡等により対前年同期比減収減益。
 ・プレス機械・工作機械の受注残は引き続き安定的に推移。



売上高の内訳 (FY2011 上期 vs. FY2012 上期)

金額単位: 億円

	FY11/上	FY12/上	増減
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	196	219	+23
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	686 [399]	347 [36]	▲339 [▲363]
その他 [うち、ギガフォトン] [うち、コマツハウス]	481 *1 [45] [191]	405 [111] [75]	▲76 [+66] [▲115]
合計	1,363	971	▲392



*1 ギガフォンは2011年度第2四半期から新規連結

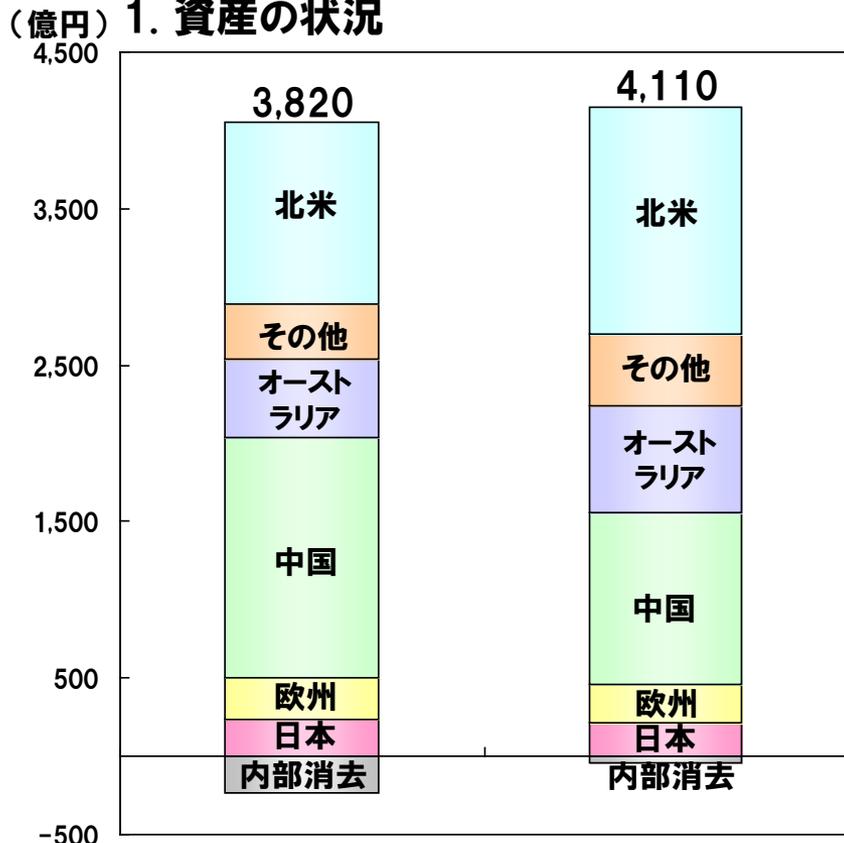
リテールファイナンスの状況

・資産は、需要が低迷する中国では減少したが、北米・オーストラリア等で増加し、対前年9月末比+290億円の増加。

・対前年同期比 増収増益。

リテールファイナンス子会社の状況

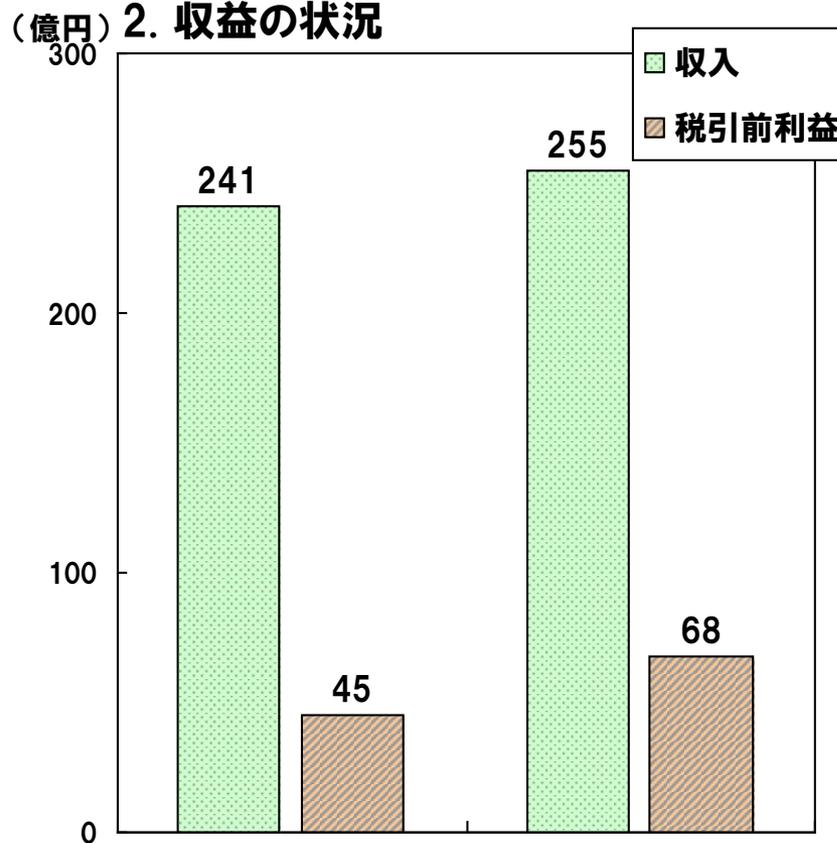
1. 資産の状況



2011年9月末
 (ドル) 76.7円
 (ユーロ) 104.1円
 (元) 12.0円

2012年9月末
 (ドル) 77.6円
 (ユーロ) 100.2円
 (元) 12.3円

2. 収益の状況



FY2011上期
 (ドル) 79.2円
 (ユーロ) 113.5円
 (元) 12.3円

FY2012上期
 (ドル) 79.6円
 (ユーロ) 101.5円
 (元) 12.6円

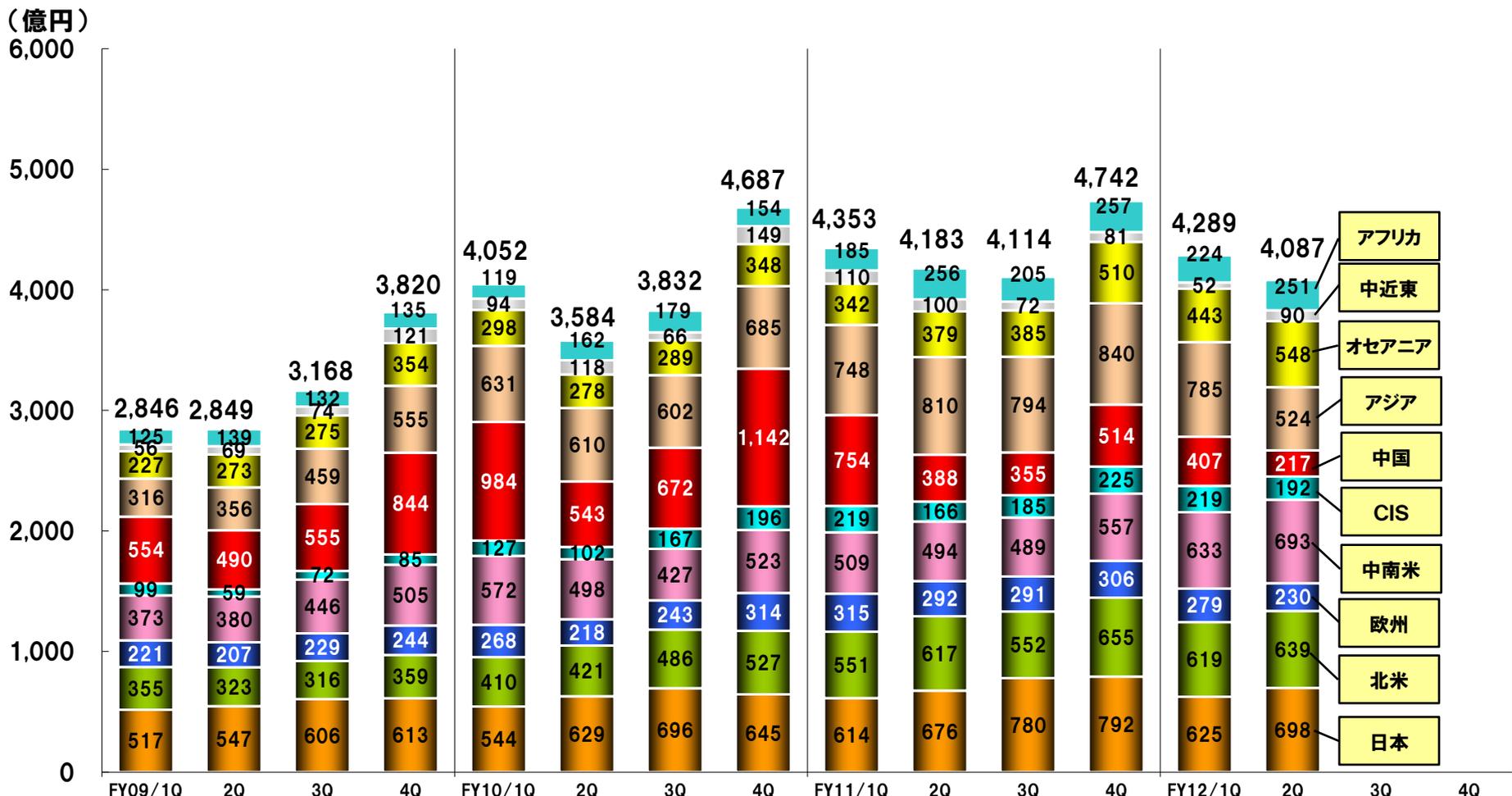
連結貸借対照表

- ・総資産は対前期末比▲1,164億円減の2兆2,040億円。
- ・ネットD/Eレシオは0.53と前期末から改善。

○ ネットD/Eレシオ	金額単位:億円	2012.3.31 1ドル=82.2円 1ユーロ=109.8円 1元=13.1円	2012.9.30 1ドル=77.6円 1ユーロ=100.2円 1元=12.3円	増減
現金・預金(含む定期預金) [a]		839	801	▲38
受取手形・売掛金(含む長期売上債権) ＜除くリテールファイナンス会社＞		7,440 <3,975>	6,600 <3,286>	▲839 <▲688>
棚卸資産		6,123	6,029	▲94
有形固定資産		5,296	5,346	+49
その他資産		3,504	3,263	▲241
資産合計		23,205	22,040	▲1,164
支払手形・買掛金		2,734	2,196	▲538
借入金・社債 [b] ＜除くリテールファイナンス会社＞		6,478 <3,369>	6,199 <3,241>	▲278 <▲128>
その他の負債		3,418	3,089	▲328
負債合計		12,630	11,485	▲1,145
(株主資本比率)		(43.5%)	(45.9%)	(+2.4ポイント)
株主資本		10,096	10,112	+15
非支配持分		477	443	▲34
負債及び純資産合計		23,205	22,040	▲1,164
ネットベースの借入金・社債 [b-a]		0.56 5,638	0.53 5,398	▲239
ネットD/Eレシオ (リテールファイナンス会社を除いた場合)		0.28	0.27	

<資料>

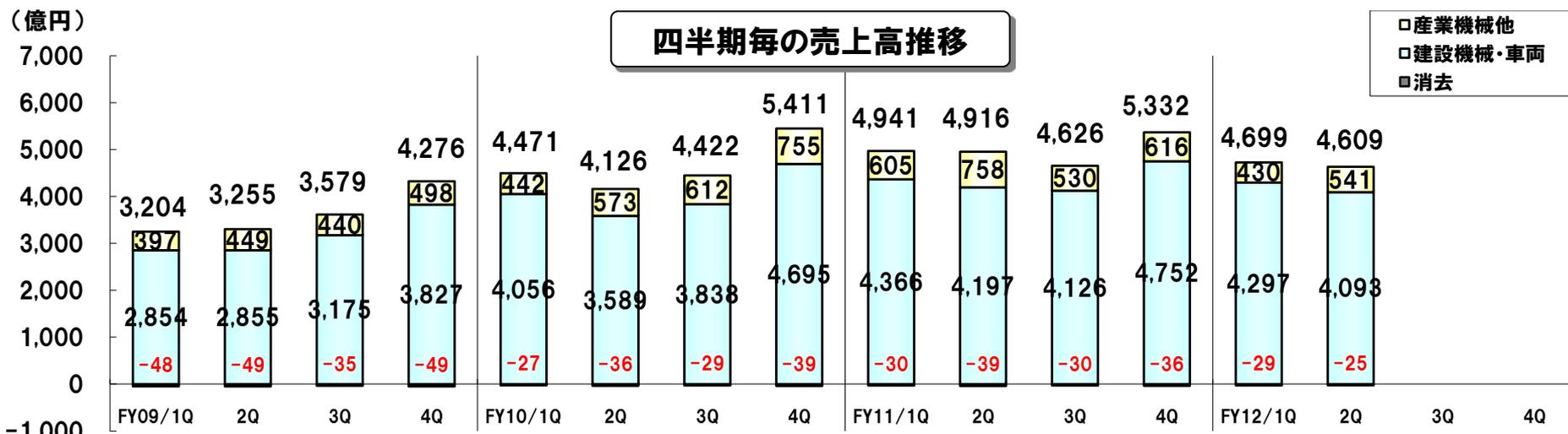
<建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)



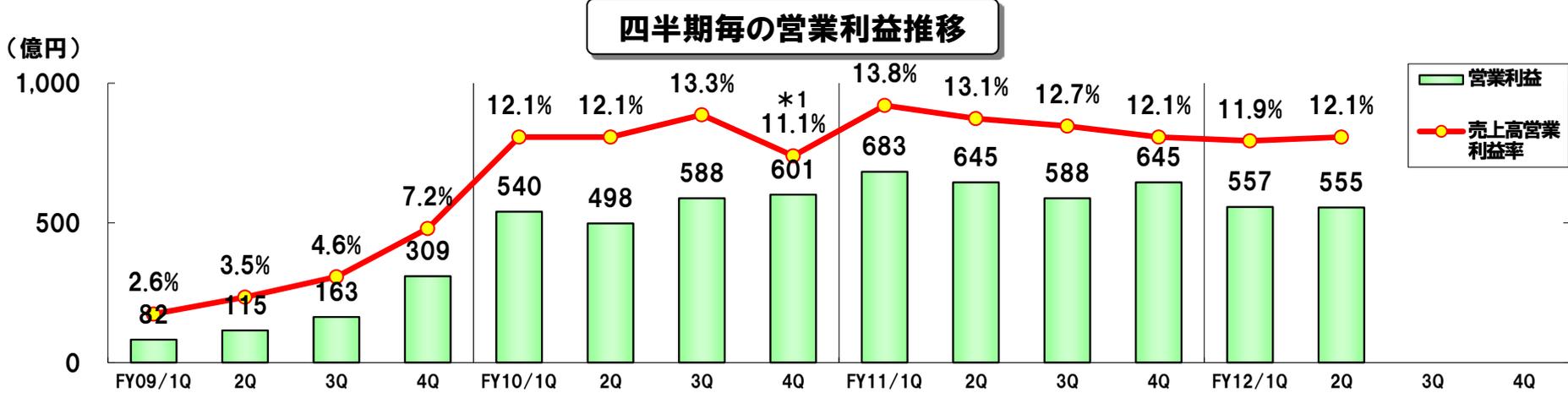
【為替レート】

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	円	円

四半期毎の売上高と営業利益の推移



為替レート	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	円	円

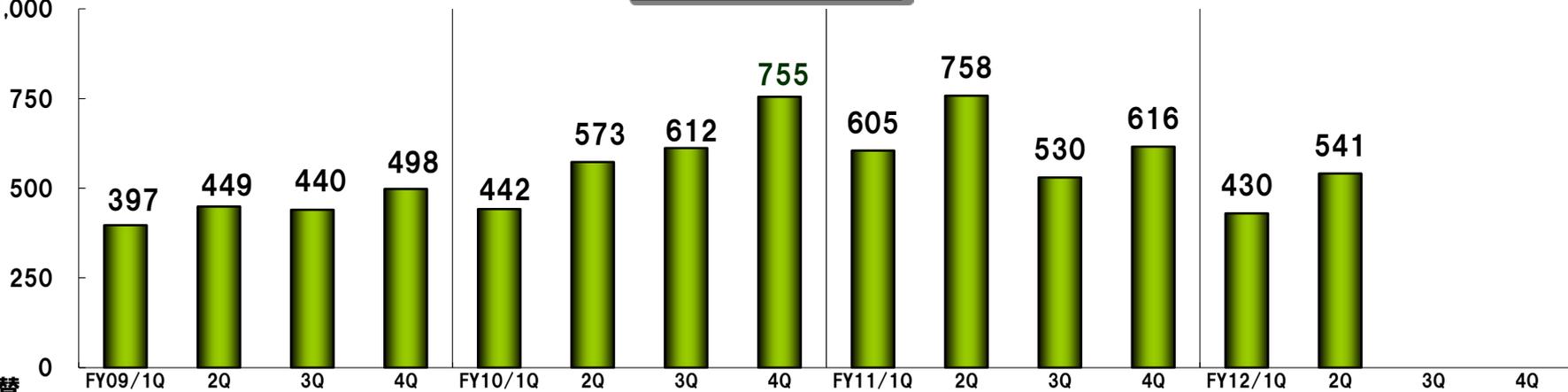


*1 震災による影響 ▲70億円を含む

<産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)
1,000

売上高推移



【為替レート】

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	円	円

(億円)
150

セグメント利益推移

